

施設名称	〔46〕 東京都台東区立小島社会教育館					
指定管理者の名称	株式会社山武（現アズビル株式会社）			指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設					
(3)経営状況	売上総利益		販売費・一般管理費	営業利益（単位：百万円）		
	22年	61,831	49,160	12,670		
	23年	61,807	50,536	11,271		
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区小島1-5-2（都営小島ビル2F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクウェア等を開設し自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	社会教育団体として登録されている団体。生涯学習課及び指定管理者が行う事業に参加する区民等					
(4)開館日・時間	開館日：火曜～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：年末年始（12/28～1/4） 設備点検日					
(5)規模	ホール：100名(129㎡) 第一和室：15名(57㎡) 第二和室：30名(70㎡) 第一会議室：30名(51㎡) 第二会議室：20名(25㎡) 第三会議室：20名(25㎡)					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	1.生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2.施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3.生涯学習ラーニングスクウェアの実施					
(2)自主事業	6講座実施 延べ11回 延参加人数193名					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	12,834,000	13,899,000	14,456,000	14,146,000	14,098,000
	料金収入等	3,600,000	2,500,000	2,010,000	2,210,000	2,450,000
	管理経費	16,434,000	16,399,000	16,466,000	16,356,000	16,548,000
決算	委託料	12,834,000	13,770,000	14,456,000	14,146,000	14,098,000
	料金収入等	1,768,815	1,682,945	1,764,830	1,749,380	1,664,050
	管理経費	15,882,951	15,452,945	16,220,830	15,895,380	15,762,050
	収支	-1,280,136	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
年間開館日数		日	341	328	342	343
ラーニングスクウェア講座数		講座	12	13	12	12
自主事業講座数		講座	2	4	6	6
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （25年度）	21年度	22年度	23年度
利用率		%	31.0	30.5	30.4	30.4
利用件数		件	1,800	1,724	1,793	1,793
利用人数		人	23,000	23,856	23,730	22,595

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

2階にある施設で、片側の階段手摺が直方体のつかみづらいタイプものだった為、利用者の要望を区に伝え左右ともつかみやすい手摺の改善に至った。
 自主事業では、地域をテーマにした講座で鳥越周辺当時の映像を見ながら今後のまち活性化についてディスカッションを行った。4歳以上の子と親を対象にした子ども育成講座を実施した。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [3]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	地域のおかず横丁を題材にした講座を開催し、16mmフィルムの記録映像を効果的に使った学習方法で、区内人材を活用した。貸室が多い館なので、利用率が上がりにくいにもかかわらず、講座を工夫して伸び悩んでいる和室の利用率向上に努めた。
(2)施設の維持管理	A	施設の老朽化が進んでいるため、施設の維持管理を適正に行い利用者が利用しやすい施設管理に取り組んでいる。利用者の要望によりミネラルウォーターを設置し来館者に提供している。
(3)利用者の満足度	A	ラーニングスクウェアで社会参加につながる講座「みんなで楽しむおもしろマジック」を開催し地域の子どもや孫と交流する手段として身に着きたいというニーズに答えた。
(4)歳入歳出	A	震災の影響もあり、料金収入が下がってしまったが利用件数は変わらないため、公用と減額免除の件数が増えていることが収入減の要因になっている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	他の教育館に比べると貸室が6室と多く利用が分散するため利用率が低くなりがちだが、ニーズの高い講座を企画することで利用者拡大に積極的に取り組んでいる。
-----------	--

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

ホームページや社会教育センターニュース「花の雲」を活用した広報活動を行うとともに、地域性のある魅力的な講座を行い、講座修了者のレベルアップとサークル活動支援を図る。研修による各スタッフのスキルアップと人材活用により、学びの還元につながる学習プランづくりに尽力し、生涯学習を行なう施設利用者の増加に努める。